

商業科（情報処理）学習指導案

指導者

- 1

履修単位数

3単位
- 2

実施日時

令和 6年 月 日（金） 第 時限
- 3

学 級

〇〇HR（ 名）
- 4

使用教科書

最新情報処理（実教出版）
- 5

単 元 名

第2節 情報モラルと法規
- 6

単元設定の理由

（1）生徒観

クラス全体の雰囲気は大人しく学習態度も良好である。しかしながら、自発性や積極性に欠け、自ら進んで学習に取り組み、深く問題を考察しようとすることが少ない。また、情報処理を学習して3か月が経過したが、定期考査の結果や生徒からの聞き取り調査の結果、3割の生徒が学習に対して苦手意識をもっている。

（2）教材観

本文の記述が丁寧に解説されており、著作権の意味や種類について図解・イラストなどを多く使っているため、分かりやすく、例題・練習問題が充実しているため、学習内容の定着ができる。

（3）指導観

著作権の意味と種類を理解させるため、身近な事例を取り上げ、各権利についてわかりやすく説明できるように心がける。

7

単元の目標

（1）企業における適切な情報処理について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

（2）情報処理の意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだす。

（3）企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組む。

8

単元の評価規準
- | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--------------------------------------|---|
| 企業における適切な情報処理について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | 情報処理の意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだすことができる。 | 企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
- 9

指導と評価の計画

第1次

情報社会の価値とモラル

.....

1時間

第2次

情報社会と法規

.....

2時間

第3次

個人情報の保護

.....

1時間

第4次

知的財産権の保護

.....

2時間（本時2/2）
- | | 【ねらい】・学習活動 | 評価の観点 | | | 評価規準・【評価方法】 |
|-----|---|-------|---|---|---|
| | | 知 | 思 | 態 | |
| 第1次 | 身近な事例を基に情報とは何かを考える活動により、情報の意義と役割を理解させる。 | ○ | | | 情報の意義と重要性について考え、説明することができる。
【観察・ワークシート】 |
| 第2次 | 情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより、ICT人材に求められる役割と身に付けるべき能力の重要性を理解させる。 | ○ | | | ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度をもとうとしている。
【観察・ワークシート】 |
| 第3次 | 身近な事例から情報の価値を考える学習活動により、情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき、そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解させる。 | ○ | | | 身近な事例で情報モラルに基づいた正しい行動のあり方を考え、説明することができる。また、そのように行動しようとする態度を身に付けている。
【観察・問題集】 |
| 第4次 | 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解させる。 | | | ○ | 個人情報や知的財産を保護することの意義を理解し、その目的と概要を説明できる。
【観察】 |
- 10

本時の指導目標

（1）知的財産権保護の必要性を理解する。

（2）ネットワーク社会で知的財産権を取り扱う際の注意点について理解する。
- 11 本時の展開
- | 時間
(分) | 学習活動 | 指導上の留意点 | 学習活動における
具体的評価規準 | 評価方法 |
|-------------|--|---|---------------------------------|------|
| 導入
(5分) | ・前時の復習と本時の授業目標を確認する。 | ・アプリを利用して、前時の復習を促す。

・本時の授業目標を示す。 | | |
| 展開
(40分) | ・知的財産権の一つである「著作権」について、説明を聞き、ワークシートにまとめる。 | ・人間の知的創造物である絵画や小説、音楽、プログラムなどの著作物に対して、それを創造した著作者が有する権利であることを電子黒板で示す。 | | |
| | ・「著作者人格権」や「著作権の例外」について、説明を聞き、ワークシートにまとめる。 | ・「著作者人格権」と「著作財産権」について具体例を示しながら、理解を促す。 | | |
| | ・著作権侵害の事例について、グループでMetaMoJi Classroomを使ってシートにまとめる。 | ・グループワークを活発におこなえるよう、適宜事例をあげる。 | ・著作権侵害の事例について調べることができる。
【知】 | ・観察 |
| | ・グループでまとめた内容を発表する。 | ・発表内容を全員が共有できるように、電子黒板に表示する。 | ・分かりやすく他者に伝えることができる。

【思】 | ・観察 |
| まとめ
(5分) | ・本時の内容を振り返る。 | ・本時に学習した内容を再確認する。 | | |